



JASDAQ

平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会社名 内外テック株式会社
代表者名 代表取締役社長 権田 浩一
(JASDAQ・コード3374)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 米澤 秀記
電 話 03-5433-1123 (代表)

営業外損失・特別損失の計上及び繰延税金資産の計上

並びに業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期における営業外損失・特別損失の計上及び繰延税金資産の計上についてお知らせいたします。また、平成 25 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）通期予想（連結・個別）の業績予想値と、本日公表の平成 26 年 3 月期決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外損失の計上について

当社 100%連結子会社であります内外テック韓国株式会社の財政状態及び業績等を勘案した結果、当該子会社に対する長期貸付金期末残高に対して貸倒引当金繰入額 17 百万円を計上(個別)することといたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額については、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 特別損失の計上について

(1) 減損損失:24百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に基づき、固定資産等(福島県伊達市他)について減損処理を行い、特別損失として減損損失を計上(連結・個別)することといたしました。

(2) 関係会社出資金評価損 : 21百万円

「金融商品に関する会計基準」の適用に基づき、関係会社出資金(100%連結子会社であります納宜伽義機材(上海)商貿有限公司)の評価損を特別損失として計上(個別)することといたしました。

なお、当該関係会社出資金評価損については、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

3. 繰延税金資産の計上について

平成 26 年 3 月期における業績の回復及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額 67 百万円を計上(連結・個別)することといたしました。

4. 業績予想値と決算値との差異

(1) 平成26年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年11月13日発表)	百万円 15,166	百万円 102	百万円 54	百万円 43	円 銭 8.92
今回実績(B)	16,055	287	235	249	51.26
増減額(B-A)	889	185	181	205	—
増減率(%)	5.9	180.3	335.6	474.5	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	11,557	△229	△273	△429	△88.21

(2) 平成26年3月期通期個別業績予想値と実績値との差異 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年11月13日発表)	百万円 14,134	百万円 109	百万円 104	円 銭 21.54
今回実績(B)	14,941	258	272	56.00
増減額(B-A)	807	148	167	—
増減率(%)	5.7	135.6	159.9	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	10,751	△136	△393	△80.82

(3) 差異の理由

① 通期の連結業績

当社グループの主な取引先である半導体製造装置業界及びFPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置業界におきましては、半導体メーカー並びにFPDメーカーの設備投資が堅調に推移したため、当社グループの売上高及び営業利益・経常利益の実績値は、前回発表を大きく上回ることとなりました。

また、当期純利益につきましては、前記2の特別損失(減損損失)の計上があるものの、前記3の法人税等調整額を計上したことにより実績値は、前回発表を大きく上回ることとなりました。

② 通期の個別業績

通期の個別業績につきましては、連結業績の理由と同様によるものであります。

なお、平成26年3月期配当予想の変更はございません。

以上